

3. 期待される成果

- (1) 期待される成果については、厚生労働行政の施策等への活用の可能性（施策への直接反映の可能性、政策形成の過程等における参考として間接的に活用される可能性、間接的な波及効果等（民間での利活用（論文引用等）、技術水準の向上、他の政策上有意な研究への発展性など）が期待できるか）を中心に600字以内で記入すること。
- (2) 当該研究がどのような厚生労働行政の課題に対し、どのように貢献するのか等について、その具体的な内容や例を極力明確にすること。

【申請研究終了時に期待される成果】

改正臓器移植法が施行され、臓器移植に対する国政の取り組みについての国民の関心と期待度は高い。臓器移植法に認められた臓器でありながら、小腸移植はいまだに保険適用となっていない。小腸移植の実施によって救命率向上が期待できる一方、今なお治療レベルの地域格差が大きい疾患のひとつであり、治療の標準化が急務である。本研究の目的は幅の広い本症の疾患群に対応した治療指針を作成することにあるが、疾患別治療指針を確立することで治療法が標準化されれば、移植外科領域の大きな進歩となり、小腸移植の保険適用に対する重要な資料となる。

【長期的に期待される成果を】

腸管不全に対しては、従来から中心静脈栄養による一律の治療が行われてきた。しかし小腸移植によって中心静脈栄養から離脱することが可能になる。日常の社会生活に戻ることによって就労も行うことが可能となる。重症度別の治療指針の確立は、治療成績向上の一方で、救命不可能な症例に対する無制限な医療資源の投入に対する抑制的効果も期待できる。同時に小腸移植の治療の簡素化や軽減化は治療期間の短縮や過剰治療に伴う無用な合併症の回避にも繋がり、医療経済的な効率化が得られる社会的成果も期待される。

4. 研究計画・方法

- (1) 研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を1, 600字以内で記入すること。
- (2) 研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者、研究分担者及び研究協力者の具体的な役割を明確にすること。
- (3) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記入すること。
- (4) 当該年度の研究計画・方法を明確に記入すること。
- (5) 本研究を実施するために使用する研究施設・研究資料・研究フィールドの確保等、現在の研究環境の状況を踏まえて記入すること。
- (6) 臨床・疫学研究においては、基本デザイン、目標症例・試料数及び評価方法等を明確に記入すること。

【研究計画】

本研究では、中心静脈栄養を必要とする腸管不全について小腸移植後も含め登録追跡調査を行う。追跡調査過程で検査を行った、小腸移植術後小腸生検・血清の試料の登録を行い免疫学研究により、病因の解明、術後免疫抑制療法の改良を行う。患者の臨床経過、画像所見、肝生検の結果、治療方法、生命予後、短期、長期の合併症について追跡調査の登録票を作成する。

多施設共同研究として症例、試料の登録をおこなう。目標症例数は腸管不全400症例、小腸移植後30症例とする。観察研究の結果から小腸移植の適応条件、集学的治療指針を作成する。腸管不全の症例については、特に1)小腸移植適応患者の選別、2)適正な移植時期の決定、3)病因の解明、4)保存的治療の治療指針、などに焦点を当てる。治療に関しては、特に1)小腸移植の適切な術後管理指針の策定、2)小腸生検試料の共有化、3)小腸生検の中央病理診断、4)遠隔病理診断システム、5)標準的な免疫抑制療法の策定、などに焦点を当てる。本年度はWeb症例登録システム、中央病理診断システムの構築、そして本年度登録された症例のデータ解析を行う。

【研究方法】

1) 基本デザイン

腸管不全症例(①)と、腸管不全に対する小腸移植実施症例(②)に対しての、過去5年の後方視的観察研究、および2年の前方視的観察研究とする。また、小腸生検試料(C)の結果の共有を行う。腸管不全に対しては日本小児外科学会認定施設、日本小腸移植研究会、日本在宅静脈経腸栄養研究会の会員施設に対して、データセンターより症例登録依頼状を送付し、応諾が得られた施設を対象とし、多施設共同研究としての症例登録を行う。小腸移植術後症例に対しては日本小腸移植研究会に実施報告された症例を対象とし、症例の登録ならびに試料の登録を行う。データセンターより1症例あたり1部の症例登録票、1試料あたり1部の登録を依頼する。各実施施設は連結可能匿名化を行った上でWeb上でデータセンターのサーバーに症例を登録する。本年度はWeb症例登録システム、中央病理診断システムの構築を行う。

2) 対象

(①) 腸管不全症例：

後方視的観察研究では、腸管不全と診断された全症例を対象とする。(目標症例数：400例以上)、前方視的観察研究では、本研究によって登録された全症例を対象とする。(目標症例数：300例以上)

(②) 腸管不全に対する小腸移植実施症例：

後方前方視的観察研究とも、小腸移植を実施された全症例を対象とする。(目標症例数：20例以上)

(③) 小腸生検：

本研究開始後に実施された小腸移植後小腸生検を対象とする。(目標生検数：100検体以上)

3) 評価方法

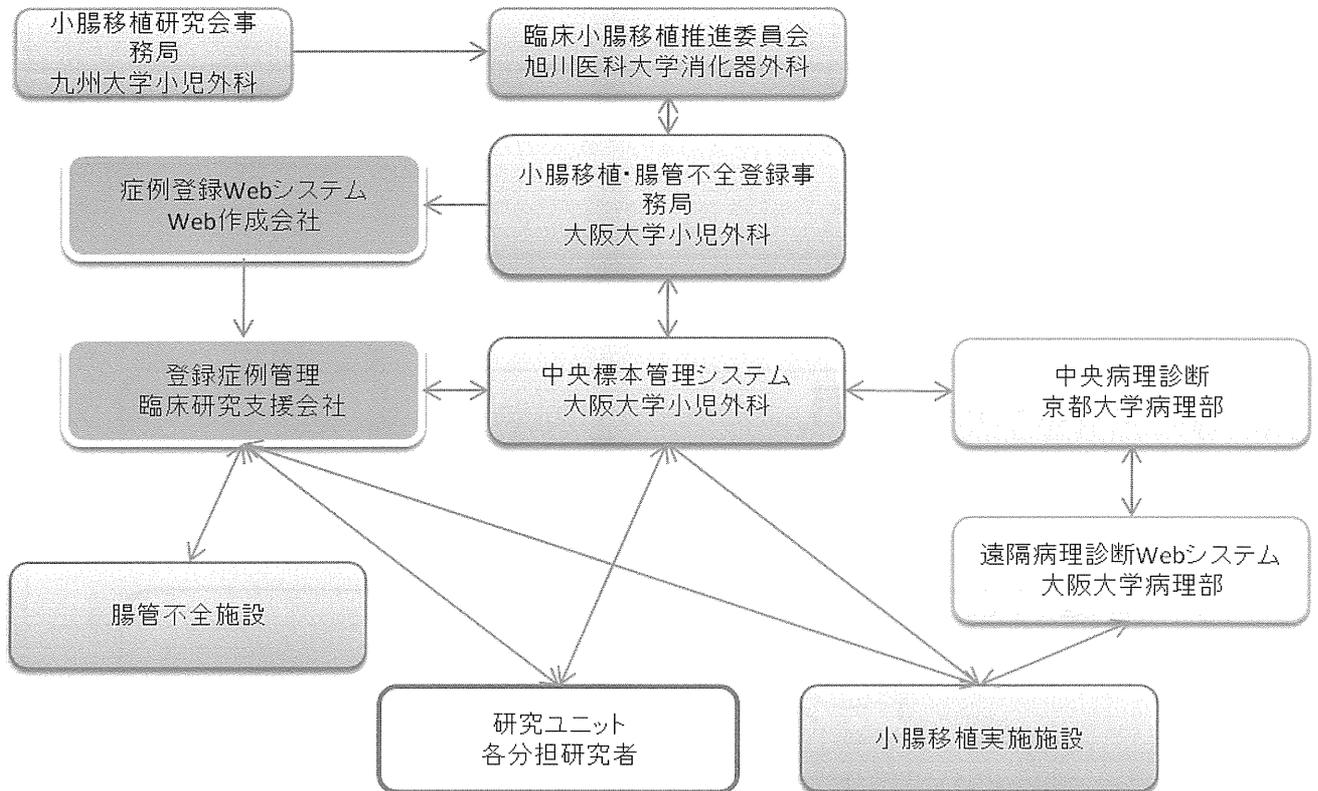
プライマリアウトカム：1年生存、中心静脈栄養離脱、最終生存確認日

観察項目：腸管機能の所見、中枢静脈ルートする所見、臓器合併症の所見、成長に関する所見、手術に関する所見、投与された薬剤、予後に関する所見などについて観察研究をおこなう。また、実施された小腸生検試料についても病理所見、病理写真、使用している免疫抑制剤等の共有化を行う。本研究は観察研究であるため、研究対象者から同意を受けることを要しないが、研究者代表者はホームページによって必要な事項を情報公開することとする。

【ロードマップ】



【チャート】



統計解析図表

目次

図表番号	情報区分	図表表題
1.1	基本情報	症例構成
1.2		施設
2		診断
<全症例>		
3.1	ベースライン	患者背景
3.3		登録時静脈栄養
3.4		登録時経口・経管栄養
3.5.1		登録時その他の栄養法・薬剤、外科治療の有無
3.5.2		登録時外科治療歴の一覧
3.6		登録時臨床検査・BMD
3.7		登録時カテーテル関連合併症及び敗血症
3.8		登録時肝障害
3.9		登録時腎障害
3.10		登録時治療関連情報
4.1	経過	観察期間
4.2		各イベントの遷移
<乳児:発症時年齢 1歳未満>		
3.1	ベースライン	患者背景
3.2		出生時情報
3.3		登録時静脈栄養
3.4		登録時経口・経管栄養
3.5.1		登録時その他の栄養法・薬剤、外科治療の有無
3.5.2		登録時外科治療歴の一覧
3.6		登録時臨床検査・BMD
3.7		登録時カテーテル関連合併症及び敗血症
3.8		登録時肝障害
3.9		登録時腎障害
3.10	登録時治療関連情報	
4.1	経過	観察期間
4.2		各イベントの遷移
4.3		身長及び体重の推移図
<小児:発症時年齢 1歳以上18歳未満>		
3.1	ベースライン	患者背景
3.2		出生時情報
3.3		登録時静脈栄養
3.4		登録時経口・経管栄養
3.5.1		登録時その他の栄養法・薬剤、外科治療の有無
3.5.2		登録時外科治療歴の一覧
3.6		登録時臨床検査・BMD
3.7		登録時カテーテル関連合併症及び敗血症
3.8		登録時肝障害
3.9		登録時腎障害
3.10	登録時治療関連情報	
4.1	経過	観察期間
4.2		各イベントの遷移
4.3		身長及び体重の推移図
<成人:発症時年齢 18歳以上>		
3.1	ベースライン	患者背景
3.3		登録時静脈栄養
3.4		登録時経口・経管栄養
3.5.1		登録時その他の栄養法・薬剤、外科治療の有無
3.5.2		登録時外科治療歴の一覧
3.6		登録時臨床検査・BMD
3.7		登録時カテーテル関連合併症及び敗血症
3.8		登録時肝障害
3.9		登録時腎障害
3.10		登録時治療関連情報
4.1	経過	観察期間
4.2		各イベントの遷移

1.1 症例構成

登録症例	96 例
	解析除外症例数 2 例
	【解析除外理由】
	誤登録のため 1 例
	登録日前に死亡のため 1 例
解析対象症例数	94 例
(1年目調査票入力症例)	30 例

1.2 施設

施設名・科名	全症例 (n=94)
	症例数 (%)
国立大学法人大阪大学医学部附属病院 消化器外科	10 (10.6)
地方独立行政法人宮城県立こども病院 外科	9 (9.6)
国立大学法人大阪大学医学部附属病院 小児成育外科	8 (8.5)
地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立こども病院 小児外科	6 (6.4)
愛知県心身障害者コロニー中央病院 小児外科	5 (5.3)
国立大学法人千葉大学医学部附属病院 小児外科	5 (5.3)
大分県立病院 小児外科	5 (5.3)
地方独立行政法人大阪府立病院機構府立母子保健総合医療センター 小児外科	5 (5.3)
国立大学法人鹿児島大学病院 小児外科	4 (4.3)
国立大学法人新潟大学医歯学総合病院 小児外科学分野	4 (4.3)
あいち小児保健医療総合センター 小児外科	3 (3.2)
学校法人慶應義塾慶應義塾大学病院 小児外科	3 (3.2)
県立広島病院 小児外科	3 (3.2)
国立大学法人旭川医科大学病院 外科学講座 小児外科	3 (3.2)
学校法人東海大学東海大学医学部附属病院 小児外科	2 (2.1)
学校法人兵庫医科大学兵庫医科大学病院 小児外科	2 (2.1)
学校法人獨協学園獨協医科大学病院 第一外科	2 (2.1)
国立大学法人京都大学医学部附属病院 小児外科	2 (2.1)
国立大学法人三重大学医学部附属病院 消化管・小児外科	2 (2.1)
国立大学法人東北大学病院 小児外科	2 (2.1)
国立大学法人北海道大学病院 消化器外科 I	2 (2.1)
学校法人杏林学園杏林大学医学部附属病院 小児外科	1 (1.1)
学校法人近畿大学近畿大学医学部奈良病院 小児外科	1 (1.1)
学校法人金沢医科大学金沢医科大学病院 小児外科	1 (1.1)
学校法人東邦大学東邦大学医療センター大森病院 消化器外科	1 (1.1)
熊本市立熊本市市民病院 小児外科	1 (1.1)
独立行政法人国立病院機構岩国医療センター 外科	1 (1.1)
日本赤十字社名古屋第二赤十字病院 小児外科	1 (1.1)

2 診断

項目	カテゴリー	全症例 (n=94)	成人 (n=13)	小児 (n=13)	乳児 (n=68)	
		症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)	
腸管不全の分類	短腸症候群	37 (39.4)	12 (92.3)	4 (30.8)	21 (30.9)	
	運動機能障害	53 (56.4)	1 (7.7)	7 (53.8)	45 (66.2)	
	その他機能障害	4 (4.3)	0 (0.0)	2 (15.4)	2 (2.9)	
項目	カテゴリーまたは統計量	全症例 (n=94)	成人 (n=13)	小児 (n=13)	乳児 (n=68)	
		症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	
短腸症候群	原疾患	中腸軸捻転	21 (56.8)	3 (25.0)	4 (100.0)	14 (66.7)
		先天性小腸閉鎖症	3 (8.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (14.3)
		壊死性腸炎 (NEC)	1 (2.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.8)
		腹壁破裂	1 (2.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.8)
		クローン病	7 (18.9)	7 (58.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
		その他	4 (10.8)	2 (16.7)	0 (0.0)	2 (9.5)
	その他 詳細	ベーチェット病	1	1	0	0
		腸間膜奇形腫	1	0	0	1
		腸間膜血流障害	1	1	0	0
		腹壁破裂、多発小腸閉鎖症	1	0	0	1
	発症日から登録日までの期間 (月)	症例数	37	12	4	21
		平均値	138.5	191.0	173.3	101.9
		標準偏差	114.1	100.4	204.1	91.3
最小値		11.9	29.5	14.0	11.9	
中央値		128.9	181.8	104.3	58.2	
最大値		470.6	389.8	470.6	330.1	
欠測数	0	0	0	0		
腸管運動障害	原疾患	ヒルシュスプルング病類縁疾患	43 (81.1)	1 (100.0)	6 (85.7)	36 (80.0)
		広範腸管無神経節症 (ヒルシュスプルング病)	10 (18.9)	0 (0.0)	1 (14.3)	9 (20.0)
	原疾患 詳細	慢性特発性偽性腸閉塞症 (CIIPS)	20 (46.5)	1 (100.0)	6 (100.0)	13 (36.1)
		腸管神経節減少症	17 (39.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (47.2)
		その他	6 (14.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (16.7)
	その他 詳細	MMIHS	6	0	0	6
		発症日から登録日までの期間 (月)	症例数	53	1	7
	発症日から登録日までの期間 (月)	平均値	117.5	90.8	152.3	112.7
		標準偏差	96.7	-	128.0	92.7
		最小値	3.9	90.8	3.9	13.9
		中央値	87.7	90.8	113.4	87.7
		最大値	412.2	90.8	360.4	412.2
		欠測数	0	0	0	0
その他機能障害	原疾患	難治性下痢	2 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (100.0)
		その他	2 (50.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)
	その他 詳細	潰瘍性大腸炎	2	0	2	0
		発症日から登録日までの期間 (月)	症例数	4	0	2
	発症日から登録日までの期間 (月)	平均値	209.1	-	101.7	316.6
		標準偏差	125.0	-	19.4	17.5
		最小値	87.9	-	87.9	304.2
		中央値	209.8	-	101.7	316.6
		最大値	328.9	-	115.4	328.9
		欠測数	0	-	0	0

*「調査票記入時」は、死亡症例の場合は最終受信時とした。

<全症例>

3.1 患者背景
解析対象集団：全症例

項目	カテゴリー または統計量	全症例 (n=94)	短腸症候群 (n=37)	腸管運動障害 (n=53)	その他機能障害 (n=4)
		症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量
性別	男性	49 (52.1)	26 (70.3)	22 (41.5)	1 (25.0)
	女性	45 (47.9)	11 (29.7)	31 (58.5)	3 (75.0)
登録時年齢(歳)	症例数	94	37	53	4
	平均値	16.0	23.8	10.2	19.8
	標準偏差	17.3	23.1	9.2	7.2
	最小値	0.0	0.0	1.0	11.0
	中央値	10.0	15.0	8.0	20.5
	最大値	73.0	73.0	42.0	27.0
	欠測数	0	0	0	0
発症時年齢(歳)	症例数	94	37	53	4
	平均値	5.81	12.94	1.04	3.13
	標準偏差	13.33	18.83	3.42	3.77
	最小値	0.00	0.00	0.00	0.00
	中央値	0.01	0.33	0.00	2.21
	最大値	58.02	58.02	19.84	8.09
	欠測数	0	0	0	0
発症日から登録日 までの期間(月) (発症からの経過期間)	症例数	94	37	53	4
	平均値	129.7	138.5	117.5	209.1
	標準偏差	105.7	114.1	96.7	125.0
	最小値	3.9	11.9	3.9	87.9
	中央値	102.1	128.9	87.7	209.8
	最大値	470.6	470.6	412.2	328.9
	欠測数	0	0	0	0
身長(cm)	症例数	94	37	53	4
	平均値	123.2	130.6	115.9	151.6
	標準偏差	34.7	38.9	30.4	24.0
	最小値	63.1	63.1	64.0	126.5
	中央値	125.8	149.6	115.7	147.8
	最大値	184.2	177.0	173.7	184.2
	欠測数	0	0	0	0
体重(kg)	症例数	94	37	53	4
	平均値	27.8	33.0	23.1	42.0
	標準偏差	17.6	20.1	14.0	18.5
	最小値	5.4	5.4	6.0	22.9
	中央値	21.9	35.7	19.6	39.0
	最大値	71.0	71.0	59.5	67.2
	欠測数	0	0	0	0
頭囲(6歳以下)	症例数	19	7	12	0
	平均値	46.9	45.7	47.7	-
	標準偏差	2.4	2.8	1.9	-
	最小値	42.0	42.0	44.7	-
	中央値	47.0	46.5	47.1	-
	最大値	50.6	49.5	50.6	-
	欠測数	16	6	10	-
Performance Status (ECOG)	0	29 (30.9)	14 (37.8)	15 (28.3)	0 (0.0)
	1	46 (48.9)	17 (45.9)	25 (47.2)	4 (100.0)
	2	7 (7.4)	2 (5.4)	5 (9.4)	0 (0.0)
	3	10 (10.6)	3 (8.1)	7 (13.2)	0 (0.0)
	4	2 (2.1)	1 (2.7)	1 (1.9)	0 (0.0)
過去1年間の入院の有無	無	18 (19.1)	13 (35.1)	5 (9.4)	0 (0.0)
	有	76 (80.9)	24 (64.9)	48 (90.6)	4 (100.0)
過去1年間の入院日数	症例数	76	24	48	4
	平均値	87.9	109.5	83.2	14.0
	標準偏差	106.9	125.1	99.3	5.2
	最小値	4.0	4.0	7.0	10.0
	中央値	42.0	38.5	45.5	12.5
	最大値	365.0	365.0	365.0	21.0
欠測数	0	0	0	0	

3.1 患者背景

解析対象集団：全症例

項目	カテゴリー または統計量	全症例 (n=94)	短腸症候群 (n=37)	腸管運動障害 (n=53)	その他機能障害 (n=4)
		症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量
新版K式発達検査2001 (DQ) (18歳以下)	症例数	28	11	17	0
	平均値	82.2	78.8	84.4	-
	標準偏差	20.8	22.5	20.1	-
	最小値	42.0	44.0	42.0	-
	中央値	87.5	81.0	90.0	-
	最大値	108.0	107.0	108.0	-
	欠測数	40	11	27	2.0
骨年齢 (18歳以下)	症例数	34	14	19	1
	平均値	6.8	6.8	6.2	18.0
	標準偏差	4.4	4.6	3.5	-
	最小値	1.0	1.0	1.0	18.0
	中央値	6.2	6.4	5.9	18.0
	最大値	18.0	14.0	12.0	18.0
	欠測数	34	8	25	1.0
思春期の評価 陰毛 (18歳以下)	1度	52 (86.7)	16 (84.2)	35 (89.7)	1 (50.0)
	2度	3 (5.0)	0 (0.0)	3 (7.7)	0 (0.0)
	4度	3 (5.0)	2 (10.5)	1 (2.6)	0 (0.0)
	5度	2 (3.3)	1 (5.3)	0 (0.0)	1 (50.0)
	欠測数	8	3	5	0
	思春期の評価 乳房 (18歳以下女性のみ)	1度	21 (72.4)	4 (66.7)	17 (77.3)
2度		5 (17.2)	0 (0.0)	4 (18.2)	1 (100.0)
4度		2 (6.9)	1 (16.7)	1 (4.5)	0 (0.0)
5度		1 (3.4)	1 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
欠測数		3	1	2	0
思春期の評価 男性外性器 (18歳以下男性のみ)		1度	25 (83.3)	10 (76.9)	15 (93.8)
	2度	2 (6.7)	1 (7.7)	1 (6.3)	0 (0.0)
	3度	1 (3.3)	1 (7.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
	4度	1 (3.3)	1 (7.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
	5度	1 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
	欠測数	6	2	4	0

3.3 登録時静脈栄養 解析対象集団：全症例

項目	カテゴリー または統計量	全症例 (n=94)	短腸症候群 (n=37)	腸管運動障害 (n=53)	その他機能障害 (n=4)	
		症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	
静脈栄養の有無	無	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	有	94 (100.0)	37 (100.0)	53 (100.0)	4 (100.0)	
静脈栄養の開始日 から登録日までの 期間(月)	症例数	93	37	52	4	
	平均値	105.3	116.8	92.0	171.3	
	標準偏差	92.5	93.9	88.3	115.3	
	最小値	11.6	11.8	11.6	72.7	
	中央値	72.7	86.1	65.9	141.7	
	最大値	385.3	341.3	385.3	328.9	
	欠測数	1	0	1	0	
直近1週間の 投与内容	投与熱量 (Kcal/day)	症例数	93	37	52	4
		平均値	859.4	895.4	819.5	1045.0
		標準偏差	428.8	482.2	386.6	466.6
		最小値	0.0	0.0	203.0	560.0
		中央値	820.0	820.0	760.0	990.0
		最大値	1800.0	1760.0	1800.0	1640.0
		欠測数	1	0	1	0
	アミノ酸量 (g/day)	症例数	92	37	51	4
		平均値	27.2	29.3	24.8	37.5
		標準偏差	16.7	18.1	15.5	17.1
		最小値	0.0	0.0	0.0	20.0
		中央値	28.3	30.0	19.8	35.0
		最大値	62.0	62.0	60.0	60.0
		欠測数	2	0	2	0
	水分量 (L/day)	症例数	93	37	52	4
		平均値	2.3	3.3	1.7	1.3
		標準偏差	7.9	12.5	0.9	0.5
		最小値	0.4	0.4	0.6	1.0
		中央値	1.4	1.2	1.5	1.1
		最大値	77.0	77.0	5.0	2.0
		欠測数	1	0	1	0
	一日平均投与 時間 (時間/ 日)	症例数	93	37	52	4
		平均値	14.3	13.7	15.0	11.0
		標準偏差	5.3	5.5	5.2	1.2
最小値		2.0	2.0	9.0	10.0	
中央値		12.0	12.0	13.5	11.0	
最大値		24.0	24.0	24.0	12.0	
欠測数		1	0	1	0	
1週間当たり のおよその平 均投与日数 (日/週)	症例数	93	37	52	4	
	平均値	6.9	6.8	6.9	7.0	
	標準偏差	0.7	1.0	0.4	0.0	
	最小値	1.0	1.0	4.0	7.0	
	中央値	7.0	7.0	7.0	7.0	
	最大値	7.0	7.0	7.0	7.0	
	欠測数	1	0	1	0	
静脈注射用脂肪 製剤	有無	無	35 (37.2)	13 (35.1)	21 (39.6)	1 (25.0)
		有	59 (62.8)	24 (64.9)	32 (60.4)	3 (75.0)
	名称	脂肪乳剤	52 (88.1)	22 (91.7)	27 (84.4)	3 (100.0)
		Omegaven (R)	6 (10.2)	1 (4.2)	5 (15.6)	0 (0.0)
		その他の脂肪 酸高含有製剤	1 (1.7)	1 (4.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
	その他 詳細	Intralipid + Omegaven	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
静脈栄養投与時の 処置手技	TauroLock (TM) の使用	無	91 (97.8)	37 (100.0)	50 (96.2)	4 (100.0)
		有	2 (2.2)	0 (0.0)	2 (3.8)	0 (0.0)
		欠測数	1	0	1	0
	エタノール ロックの使用	無	58 (61.7)	27 (73.0)	29 (54.7)	2 (50.0)
		有	36 (38.3)	10 (27.0)	24 (45.3)	2 (50.0)

3.4 登録時経口・経管栄養 解析対象集団：全症例

項目	カテゴリ または統計 量	全症例 (n=94)	短腸症候群 (n=37)	腸管運動障害 (n=53)	その他機能障害 (n=4)	
		症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	
経口・経管栄養の有無	無	18 (19.1)	8 (21.6)	10 (18.9)	0 (0.0)	
	有	76 (80.9)	29 (78.4)	43 (81.1)	4 (100.0)	
開始日から登録時までの期間(月)	症例数	60	24	33	3	
	平均値	97.3	100.0	86.8	191.4	
	標準偏差	86.9	88.4	80.4	119.4	
	最小値	11.4	11.4	16.1	109.6	
	中央値	63.4	64.8	61.1	136.1	
	最大値	352.0	327.7	352.0	328.4	
	欠測数	16	5	10	1	
直近1週間の 摂取内容	投与熱量 (Kcal/day)	症例数	55	24	28	3
		平均値	716.5	712.2	714.9	766.7
		標準偏差	480.9	536.0	450.0	450.9
		最小値	64.0	64.0	100.0	300.0
		中央値	600.0	600.0	573.5	800.0
		最大値	2000.0	2000.0	1740.0	1200.0
		欠測数	21	5	15	1
		アミノ酸量 (g/day)	症例数	50	23	24
	平均値		27.1	27.6	26.2	30.7
	標準偏差		19.2	19.4	19.1	25.0
	最小値		4.0	4.0	4.0	6.0
	中央値		20.0	23.6	18.7	30.0
	最大値		70.0	70.0	68.4	56.0
	欠測数		26	6	19	1
	水分量 (L/day)		症例数	53	24	26
		平均値	0.8	0.7	0.9	0.7
		標準偏差	0.4	0.3	0.5	0.4
		最小値	0.2	0.2	0.3	0.5
		中央値	0.8	0.8	0.8	0.5
		最大値	2.2	1.3	2.2	1.2
		欠測数	23	5	17	1
		一日平均摂 取回数(回/日)	症例数	70	27	39
	平均値		3.5	3.4	3.7	2.0
	標準偏差		1.7	1.8	1.7	1.2
	最小値		1.0	1.0	1.0	1.0
	中央値		3.0	3.0	3.0	2.0
	最大値		8.0	8.0	8.0	3.0
	欠測数		6	2	4	0
1週間当たりのおよ その平均摂取日数 (日/週)	症例数		71	27	40	4
	平均値	6.9	7.0	7.0	6.0	
	標準偏差	0.5	0.0	0.3	2.0	
	最小値	3.0	7.0	5.0	3.0	
	中央値	7.0	7.0	7.0	7.0	
	最大値	7.0	7.0	7.0	7.0	
	欠測数	5	2	3	0	
	絶食	医師の判断による絶 食の指示	無	86 (91.5)	35 (94.6)	47 (88.7)
有			8 (8.5)	2 (5.4)	6 (11.3)	0 (0.0)
経口摂取		無	15 (16.0)	4 (10.8)	11 (20.8)	0 (0.0)
		有	79 (84.0)	33 (89.2)	42 (79.2)	4 (100.0)

3.5.1 登録時その他の栄養法・薬剤、外科治療の有無

解析対象集団：全症例

項目	カテゴリー		全症例 (n=94)	短腸症候群 (n=37)	腸管運動障害 (n=53)	その他機能障害 (n=4)
			症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量
人工肛門	人工肛門の肛門側からの再注入施行	無	88 (94.6)	35 (94.6)	49 (94.2)	4 (100.0)
		有	5 (5.4)	2 (5.4)	3 (5.8)	0 (0.0)
		欠測数	1	0	1	0
薬剤	Probioticsの使用	無	42 (45.2)	19 (51.4)	20 (38.5)	3 (75.0)
		有	51 (54.8)	18 (48.6)	32 (61.5)	1 (25.0)
		欠測数	1	0	1	0
	腸管運動改善薬の使用	無	60 (64.5)	25 (67.6)	31 (59.6)	4 (100.0)
		有	33 (35.5)	12 (32.4)	21 (40.4)	0 (0.0)
		欠測数	1	0	1	0
	H ₂ Blockerの使用	無	75 (80.6)	32 (86.5)	41 (78.8)	2 (50.0)
		有	18 (19.4)	5 (13.5)	11 (21.2)	2 (50.0)
		欠測数	1	0	1	0
	PPIの使用	無	79 (84.9)	31 (83.8)	44 (84.6)	4 (100.0)
		有	14 (15.1)	6 (16.2)	8 (15.4)	0 (0.0)
		欠測数	1	0	1	0
外科的治療	外科的治療の有無	無	2 (2.2)	2 (5.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
		有	91 (97.8)	35 (94.6)	52 (100.0)	4 (100.0)
		欠測数	1	0	1	0

3.5.2 登録時外科治療歴の一覧

解析対象集団：全症例

登録番号	登録日	病型	発症時年齢	登録時年齢	外科的治療の実施日	外科的治療名	残存小腸の長さ(cm)	回盲弁の有無
001-001	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	12	2011/3/26	腸瘻造設	-	-
001-001	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	12	2003/11/15	腸瘻閉鎖	-	-
001-003	2013/8/29	その他機能障害	0.00	24	1998/5/15	腸瘻造設	-	-
001-003	2013/8/29	その他機能障害	0.00	24	1997/7/1	腸瘻閉鎖	-	-
001-004	2013/8/29	腸管運動障害	0.23	10	2006/1/15	腸瘻造設	-	-
001-005	2013/8/29	短腸症候群	0.05	4	2008/5/21	腸管切除	10	有
001-006	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	5	2008/4/28	腸瘻造設	-	-
001-006	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	5	2010/4/14	腸瘻造設	-	-
001-006	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	5	2011/6/4	腸管切除	-	有
001-007	2013/8/29	腸管運動障害	19.84	26	2006/5/10	腸管切除	-	有
001-007	2013/8/29	腸管運動障害	19.84	26	2011/5/26	腸管切除	-	有
001-007	2013/8/29	腸管運動障害	19.84	26	2012/3/22	腸瘻造設	-	-
001-008	2013/8/29	短腸症候群	14.49	53	1974/7/1	腸管切除	15	無
001-009	2013/8/29	その他機能障害	0.40	27	2004/10/4	胃瘻造設	-	-
002-001	2013/5/6	腸管運動障害	0.00	8	2004/7/16	腸瘻造設	-	-
002-001	2013/5/6	腸管運動障害	0.00	8	2004/8/15	腸瘻造設	-	-
002-001	2013/5/6	腸管運動障害	0.00	8	2005/7/16	腸管切除	65	無
002-001	2013/5/6	腸管運動障害	0.00	8	2009/11/10	腸管延長	-	-
002-002	2013/5/16	腸管運動障害	0.00	7	2006/2/21	腸瘻造設	-	-
002-002	2013/5/16	腸管運動障害	0.00	7	2006/5/23	腸瘻造設	-	-
002-002	2013/5/16	腸管運動障害	0.00	7	2012/11/20	腸瘻造設	-	-
002-003	2013/5/18	腸管運動障害	0.00	6	2006/12/26	腸瘻造設	-	-
002-003	2013/5/18	腸管運動障害	0.00	6	2007/1/24	腸瘻造設	-	-
002-003	2013/5/18	腸管運動障害	0.00	6	2008/10/16	腸瘻造設	-	-
002-003	2013/5/18	腸管運動障害	0.00	6	2009/6/23	腸瘻造設	-	-
002-003	2013/5/18	腸管運動障害	0.00	6	2011/9/27	腸管切除	145	無
003-001	2013/4/30	短腸症候群	0.00	22	1991/1/16	腸管切除	6	有
003-002	2013/4/30	短腸症候群	0.72	5	2008/4/22	腸管切除	35	有
003-003	2013/4/30	腸管運動障害	0.00	5	2007/11/14	人工肛門造設	-	-
003-003	2013/4/30	腸管運動障害	0.00	5	2008/3/11	腸管切除	38	無
004-001	2013/5/20	短腸症候群	6.83	17	2002/4/22	腸管切除	15	無
004-001	2013/5/20	短腸症候群	6.83	17	2002/4/22	腸瘻造設	-	-
004-001	2013/5/20	短腸症候群	6.83	17	2002/5/15	腸瘻閉鎖	-	-
004-002	2013/5/20	短腸症候群	0.00	11	2001/12/5	腸管切除	7	無
004-002	2013/5/20	短腸症候群	0.00	11	2006/6/27	胃瘻造設	-	-
004-003	2013/5/20	短腸症候群	0.00	4	2008/7/21	腸管切除	6.5	有
004-004	2013/5/20	短腸症候群	0.00	2	2010/12/25	人工肛門造設	-	-
004-004	2013/5/20	短腸症候群	0.00	2	2010/12/25	胃瘻造設	-	-
004-004	2013/5/20	短腸症候群	0.00	2	2011/2/9	腸瘻閉鎖	-	-
004-004	2013/5/20	短腸症候群	0.00	2	2011/2/25	腸管切除	15	無
004-004	2013/5/20	短腸症候群	0.00	2	2011/7/13	腸瘻造設	-	-
004-004	2013/5/20	短腸症候群	0.00	2	2011/12/7	腸瘻閉鎖	-	-
004-005	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	8	2005/2/12	人工肛門造設	-	-
004-005	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	8	2005/4/4	人工肛門造設	-	-
004-005	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	8	2005/4/4	腸管切除	70	無
004-006	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	4	2008/9/4	人工肛門造設	-	-
004-006	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	4	2008/10/8	人工肛門造設	-	-
004-006	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	4	2008/10/8	胃瘻造設	-	-
004-006	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	4	2009/4/1	腸管切除	32	無
004-007	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	2	2011/3/19	人工肛門造設	-	-
004-007	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	2	2011/11/21	人工肛門造設	-	-
004-007	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	2	2011/11/21	胃瘻造設	-	-
004-007	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	2	2011/11/21	腸瘻造設	-	-
004-007	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	2	2011/11/21	腸管切除	40	無
004-008	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	11	2004/12/24	腸瘻造設	-	-
004-008	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	11	2005/2/4	胃瘻造設	-	-
004-008	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	11	2005/8/17	腸管切除	100	有
004-009	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	3	2009/6/26	人工肛門造設	-	-
004-009	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	3	2009/6/26	胃瘻造設	-	-
004-009	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	3	2009/6/26	腸瘻閉鎖	-	-
004-009	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	3	2010/4/14	腸管切除	41	有
004-009	2013/5/20	腸管運動障害	0.00	3	2010/7/14	腸瘻閉鎖	-	-

3.5.2 登録時外科治療歴の一覧

解析対象集団：全症例

登録番号	登録日	病型	発症時年齢	登録時年齢	外科的治療の実施日	外科的治療名	残存小腸の長さ(cm)	回盲弁の有無
006-001	2013/6/4	短腸症候群	0.00	4	2008/9/5	人工肛門造設	-	-
006-001	2013/6/4	短腸症候群	0.00	4	2008/11/5	人工肛門造設	-	-
006-001	2013/6/4	短腸症候群	0.00	4	2013/2/20	腸管延長	-	-
006-002	2013/11/19	腸管運動障害	0.00	3	2013/4/16	胃瘻造設	-	-
007-001	2013/10/29	腸管運動障害	0.00	4	2008/8/23	腸瘻造設	-	-
007-001	2013/10/29	腸管運動障害	0.00	4	2008/8/27	腸瘻造設	-	-
007-001	2013/10/29	腸管運動障害	0.00	4	2008/9/22	人工肛門造設	-	-
007-001	2013/10/29	腸管運動障害	0.00	4	2008/9/22	胃瘻造設	-	-
007-001	2013/10/29	腸管運動障害	0.00	4	2008/12/24	腸管切除	70	有
008-001	2013/8/16	短腸症候群	39.16	50	2002/1/1	腸管切除	100	無
010-001	2013/8/2	腸管運動障害	0.00	10	2002/9/27	人工肛門造設	-	-
010-001	2013/8/2	腸管運動障害	0.00	10	2004/7/13	腸管切除	50	無
010-002	2013/10/9	腸管運動障害	0.58	13	2006/7/6	腸管切除	80	無
010-003	2013/11/8	腸管運動障害	0.00	1	2012/2/24	人工肛門造設	-	-
010-003	2013/11/8	腸管運動障害	0.00	1	2012/3/9	腸管切除	30	無
010-003	2013/11/8	腸管運動障害	0.00	1	2012/6/28	腸管延長	-	-
010-004	2013/11/18	腸管運動障害	0.00	6	2006/9/8	人工肛門造設	-	-
010-004	2013/11/18	腸管運動障害	0.00	6	2006/9/19	腸管切除	35	無
010-004	2013/11/18	腸管運動障害	0.00	6	2007/9/25	腸管延長	-	-
010-004	2013/11/18	腸管運動障害	0.00	6	2008/2/28	腸瘻閉鎖	-	-
010-005	2014/2/10	腸管運動障害	0.00	13	2011/10/6	腸管切除	200	無
010-005	2014/2/10	腸管運動障害	0.00	13	2012/11/20	腸管切除	140	無
010-005	2014/2/10	腸管運動障害	0.00	13	2014/1/14	腸瘻閉鎖	-	-
010-006	2014/2/10	短腸症候群	0.33	7	2006/12/12	腸管切除	8	有
011-001	2013/11/11	短腸症候群	0.02	2	2011/3/5	腸管切除	9	有
011-001	2013/11/11	短腸症候群	0.02	2	2011/3/28	腸管切除	8	無
011-001	2013/11/11	短腸症候群	0.02	2	2011/3/28	胃瘻造設	-	-
011-002	2013/11/11	腸管運動障害	0.01	1	2012/6/19	人工肛門造設	-	-
011-002	2013/11/11	腸管運動障害	0.01	1	2012/6/22	腸管切除	43	有
011-002	2013/11/11	腸管運動障害	0.01	1	2012/8/2	腸管切除	40	有
011-003	2013/11/11	腸管運動障害	0.00	13	2000/1/6	腸瘻造設	-	-
011-003	2013/11/11	腸管運動障害	0.00	13	2000/1/31	腸瘻造設	-	-
011-003	2013/11/11	腸管運動障害	0.00	13	2006/7/27	腸管切除	56	無
011-004	2013/11/11	腸管運動障害	0.01	9	2004/1/20	腸瘻造設	-	-
011-004	2013/11/11	腸管運動障害	0.01	9	2004/2/27	腸瘻造設	-	-
011-004	2013/11/11	腸管運動障害	0.01	9	2007/9/6	腸管切除	56	無
011-005	2013/11/11	腸管運動障害	1.45	19	2008/12/18	腸瘻造設	-	-
011-005	2013/11/11	腸管運動障害	1.45	19	2012/5/9	胃瘻造設	-	-
011-005	2013/11/11	腸管運動障害	1.45	19	2012/5/17	腸瘻造設	-	-
011-005	2013/11/11	腸管運動障害	1.45	19	2012/7/9	腸管切除	355	有
011-005	2013/11/11	腸管運動障害	1.45	19	2012/8/23	腸管切除	100	無
012-001	2013/6/17	短腸症候群	0.01	12	2000/10/17	腸管切除	7	無
013-001	2014/1/21	腸管運動障害	0.00	1	2012/9/14	腸瘻造設	-	-
014-001	2013/10/24	腸管運動障害	0.00	9	2004/4/24	腸管切除	60	無
014-001	2013/10/24	腸管運動障害	0.00	9	2004/4/24	腸瘻造設	-	-
014-001	2013/10/24	腸管運動障害	0.00	9	2006/6/23	腸瘻閉鎖	-	-
014-002	2013/10/24	腸管運動障害	0.00	5	2008/9/5	腸瘻造設	-	-
014-002	2013/10/24	腸管運動障害	0.00	5	2009/5/26	腸管切除	130	無
014-002	2013/10/24	腸管運動障害	0.00	5	2009/5/26	腸瘻閉鎖	-	-
015-001	2013/10/23	短腸症候群	0.01	16	1996/10/16	腸管切除	55	有
015-001	2013/10/23	短腸症候群	0.01	16	1996/10/17	腸管切除	7	有
015-002	2013/10/25	腸管運動障害	2.05	1	2011/6/15	腸瘻造設	-	-
015-002	2013/10/25	腸管運動障害	2.05	1	2011/7/12	腸瘻造設	-	-
015-002	2013/10/25	腸管運動障害	2.05	1	2011/8/12	腸管切除	40	無
015-002	2013/10/25	腸管運動障害	2.05	1	2012/11/7	腸管延長	-	-
015-002	2013/10/25	腸管運動障害	2.05	1	2012/11/18	腸瘻造設	-	-
015-002	2013/10/25	腸管運動障害	2.05	1	2013/1/4	腸瘻閉鎖	-	-
016-001	2013/9/17	腸管運動障害	0.06	13	2011/10/31	腸管切除	60	無
016-002	2013/9/27	腸管運動障害	0.00	1	2011/10/10	人工肛門造設	-	-
016-002	2013/9/27	腸管運動障害	0.00	1	2012/9/13	腸管切除	120	有
016-002	2013/9/27	腸管運動障害	0.00	1	2012/9/13	腸瘻造設	-	-
016-003	2013/10/7	短腸症候群	1.31	1	2012/8/7	腸管切除	24	無

3.5.2 登録時外科治療歴の一覧

解析対象集団：全症例

登録番号	登録日	病型	発症時年齢	登録時年齢	外科的治療の実施日	外科的治療名	残存小腸の長さ (cm)	回盲弁の有無
017-001	2013/10/22	腸管運動障害	0.00	8	2006/4/10	胃瘻造設	-	-
017-001	2013/10/22	腸管運動障害	0.00	8	2006/4/10	胃瘻造設	-	-
017-001	2013/10/22	腸管運動障害	0.00	8	2010/10/25	胃瘻造設	-	-
017-001	2013/10/22	腸管運動障害	0.00	8	2011/8/5	腸管切除	-	有
017-001	2013/10/22	腸管運動障害	0.00	8	2012/3/5	腸管切除	100	無
017-001	2013/10/22	腸管運動障害	0.00	8	2012/3/5	腸瘻造設	-	-
017-001	2013/10/22	腸管運動障害	0.00	8	2012/3/5	人工肛門造設	-	-
019-001	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	7	2008/11/14	腸瘻造設	-	-
019-001	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	7	2009/7/5	腸瘻造設	-	-
019-001	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	7	2012/7/11	腸瘻造設	-	-
019-001	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	7	2012/7/11	胃瘻造設	-	-
019-001	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	7	2012/7/11	腸瘻閉鎖	-	-
019-002	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	7	2010/9/4	胃瘻造設	-	-
019-003	2013/8/29	腸管運動障害	2.17	7	2009/3/2	腸瘻造設	-	-
019-003	2013/8/29	腸管運動障害	2.17	7	2009/12/9	腸瘻造設	-	-
019-003	2013/8/29	腸管運動障害	2.17	7	2010/3/8	腸瘻造設	-	-
019-003	2013/8/29	腸管運動障害	2.17	7	2009/3/2	胃瘻造設	-	-
019-003	2013/8/29	腸管運動障害	2.17	7	2010/3/8	腸瘻閉鎖	-	-
019-004	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	22	2010/3/12	腸瘻造設	-	-
019-004	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	22	2010/9/22	腸瘻造設	-	-
019-004	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	22	2010/9/22	腸瘻閉鎖	-	-
019-005	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	1	2012/12/17	腸瘻閉鎖	-	-
019-005	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	1	2012/12/17	腸瘻造設	-	-
019-005	2013/8/29	腸管運動障害	0.00	1	2012/7/5	腸瘻造設	-	-
020-001	2013/11/13	腸管運動障害	0.00	5	2008/11/19	腸瘻造設	-	-
020-002	2013/11/13	腸管運動障害	0.00	28	1993/10/20	腸管切除	16	有
020-003	2013/11/13	腸管運動障害	0.00	14	2004/10/16	腸管切除	150	有
020-004	2013/11/13	腸管運動障害	12.41	42	1996/12/17	腸瘻造設	-	-
020-005	2013/11/13	短腸症候群	0.33	4	2011/3/9	胃瘻造設	-	-
021-001	2013/12/2	短腸症候群	45.44	58	2000/7/1	腸管切除	30	無
022-001	2013/12/20	短腸症候群	0.01	27	2009/9/9	腸管延長	-	-
022-001	2013/12/20	短腸症候群	0.01	27	1986/7/3	腸管切除	17	有
022-001	2013/12/20	短腸症候群	0.01	27	1986/7/16	腸瘻閉鎖	-	-
022-001	2013/12/20	短腸症候群	0.01	27	1986/9/3	腸管切除	13	有
022-002	2013/12/20	その他機能障害	8.09	17	2004/10/13	腸管切除	-	無
022-003	2013/12/20	腸管運動障害	0.22	34	1994/2/15	腸瘻造設	-	-
022-004	2013/12/20	腸管運動障害	0.34	29	1988/11/18	腸瘻造設	-	-
022-004	2013/12/20	腸管運動障害	0.34	29	1996/8/17	腸瘻造設	-	-
022-004	2013/12/20	腸管運動障害	0.34	29	1996/8/20	腸瘻造設	-	-
022-005	2013/12/20	腸管運動障害	2.29	23	2012/8/5	腸瘻造設	-	-
022-005	2013/12/20	腸管運動障害	2.29	23	2013/1/9	腸管切除	205	無
023-001	2013/11/5	腸管運動障害	0.18	21	1992/7/1	人工肛門造設	-	-
023-001	2013/11/5	腸管運動障害	0.18	21	2003/1/10	腸瘻造設	-	-
023-001	2013/11/5	腸管運動障害	0.18	21	2006/10/17	腸管切除	70	無
023-002	2013/11/5	腸管運動障害	0.00	10	2007/2/20	腸管切除	-	有
023-002	2013/11/5	腸管運動障害	0.00	10	2007/6/5	腸瘻造設	-	-
023-003	2013/11/8	その他機能障害	4.01	11	2008/1/8	胃瘻造設	-	-
023-003	2013/11/8	その他機能障害	4.01	11	2008/1/18	腸瘻造設	-	-
023-004	2013/11/11	短腸症候群	0.01	17	1996/9/25	腸管切除	8	有
024-001	2013/11/20	腸管運動障害	3.89	13	2005/2/2	胃瘻造設	-	-
024-001	2013/11/20	腸管運動障害	3.89	13	2005/2/14	腸管切除	-	無
024-001	2013/11/20	腸管運動障害	3.89	13	2005/2/18	人工肛門造設	-	-
024-001	2013/11/20	腸管運動障害	3.89	13	2005/2/23	腸瘻造設	-	-
024-001	2013/11/20	腸管運動障害	3.89	13	2007/2/15	腸瘻閉鎖	-	-
025-001	2013/11/19	腸管運動障害	0.00	2	2013/9/18	腸管切除	80	無
025-001	2013/11/19	腸管運動障害	0.00	2	2011/11/21	腸瘻造設	-	-
025-002	2013/11/19	短腸症候群	0.02	2	2011/11/10	腸管切除	30	有
025-002	2013/11/19	短腸症候群	0.02	2	2011/11/10	腸瘻造設	-	-
025-002	2013/11/19	短腸症候群	0.02	2	2011/11/19	腸管切除	7	無
025-002	2013/11/19	短腸症候群	0.02	2	2011/11/19	腸瘻造設	-	-
025-002	2013/11/19	短腸症候群	0.02	2	2012/3/21	胃瘻造設	-	-
025-002	2013/11/19	短腸症候群	0.02	2	2012/3/21	腸瘻閉鎖	-	-
026-001	2013/11/20	短腸症候群	7.79	13	2007/11/21	腸管切除	0	無
026-001	2013/11/20	短腸症候群	7.79	13	2007/11/21	胃瘻造設	-	-

3.5.2 登録時外科治療歴の一覧

解析対象集団：全症例

登録番号	登録日	病型	発症時年齢	登録時年齢	外科的治療の実施日	外科的治療名	残存小腸の長さ(cm)	回盲弁の有無
026-002	2013/11/20	短腸症候群	0.00	2	2011/1/13	腸管切除	30	無
026-002	2013/11/20	短腸症候群	0.00	2	2012/3/28	胃瘻造設	-	-
026-002	2013/11/20	短腸症候群	0.00	2	2012/3/28	腸管延長	-	-
026-002	2013/11/20	短腸症候群	0.00	2	2012/7/24	胃瘻造設	-	-
027-001	2013/12/10	短腸症候群	58.02	73	1998/7/7	腸管切除	115	有
027-002	2013/12/10	短腸症候群	19.92	47	1986/6/24	腸管切除	190	無
027-002	2013/12/10	短腸症候群	19.92	47	1986/7/2	人工肛門造設	-	-
027-002	2013/12/10	短腸症候群	19.92	47	1987/12/14	人工肛門造設	-	-
027-002	2013/12/10	短腸症候群	19.92	47	1988/12/14	人工肛門造設	-	-
027-002	2013/12/10	短腸症候群	19.92	47	1998/7/15	人工肛門造設	-	-
027-002	2013/12/10	短腸症候群	19.92	47	2001/12/19	人工肛門造設	-	-
027-003	2013/12/10	短腸症候群	37.81	54	1985/10/15	腸管切除	-	無
027-003	2013/12/10	短腸症候群	37.81	54	1997/5/2	腸管切除	150	無
027-004	2013/12/10	短腸症候群	21.20	53	1981/7/1	腸管切除	120	有
027-005	2013/12/10	短腸症候群	35.09	56	1992/9/30	腸管切除	230	無
027-006	2013/12/10	短腸症候群	28.85	43	1991/8/15	腸管切除	-	無
027-006	2013/12/10	短腸症候群	28.85	43	2010/3/15	腸管切除	-	無
027-006	2013/12/10	短腸症候群	28.85	43	1999/2/15	腸管切除	-	無
027-007	2014/1/8	短腸症候群	23.62	30	2007/3/1	腸管切除	-	有
027-008	2014/1/8	短腸症候群	28.39	46	1995/7/28	腸管切除	285	有
027-009	2014/1/8	短腸症候群	56.88	59	1987/8/15	腸管切除	-	有
027-009	2014/1/8	短腸症候群	56.88	59	1992/10/16	腸管切除	150	有
027-009	2014/1/8	短腸症候群	56.88	59	2001/3/15	腸管切除	130	有
027-009	2014/1/8	短腸症候群	56.88	59	2004/12/27	腸管切除	90	無
027-009	2014/1/8	短腸症候群	56.88	59	2011/7/27	腸管切除	70	無
027-009	2014/1/8	短腸症候群	56.88	59	2012/2/8	腸管切除	65	無
027-010	2014/1/8	短腸症候群	52.36	62	1984/12/18	腸管切除	-	無
027-010	2014/1/8	短腸症候群	52.36	62	2004/2/25	腸管切除	165	無
029-002	2014/2/14	腸管運動障害	0.00	5	2008/9/17	胃瘻造設	-	-
029-002	2014/2/14	腸管運動障害	0.00	5	2009/3/30	腸管切除	27	有
029-002	2014/2/14	腸管運動障害	0.00	5	2009/3/30	人工肛門造設	-	-
029-002	2014/2/14	腸管運動障害	0.00	5	2010/4/14	腸管切除	63	無
029-002	2014/2/14	腸管運動障害	0.00	5	2013/3/11	腸管延長	-	-
029-003	2014/2/14	腸管運動障害	0.00	2	2012/1/17	人工肛門造設	-	-
029-003	2014/2/14	腸管運動障害	0.00	2	2012/2/21	腸管切除	30	無
029-004	2014/2/14	短腸症候群	0.08	1	2013/1/4	腸管切除	7	無
029-004	2014/2/14	短腸症候群	0.08	1	2013/1/4	人工肛門造設	-	-
029-004	2014/2/14	短腸症候群	0.08	1	2013/5/13	腸瘻閉鎖	-	-
031-002	2014/2/14	短腸症候群	0.00	0	2013/2/20	腸管切除	40	無
032-001	2014/2/14	短腸症候群	0.07	0	2013/1/3	腸管切除	6.5	無
032-002	2014/2/14	腸管運動障害	0.00	1	2011/5/26	腸瘻造設	-	-
032-003	2014/2/14	腸管運動障害	9.33	14	2011/6/6	腸瘻造設	-	-
032-004	2014/2/17	腸管運動障害	0.00	2	2011/10/21	腸瘻造設	-	-
032-004	2014/2/17	腸管運動障害	0.00	2	2012/7/6	腸瘻造設	-	-

3.6 登録時臨床検査・BMD

解析対象集団：全症例

項目	統計量	全症例 (n=94)	短腸症候群 (n=37)	腸管運動障害 (n=53)	その他機能障害 (n=4)
		統計量	統計量	統計量	統計量
ヘモグロビン (g/dL)	症例数	92	36	52	4
	平均値	12.4	12.7	12.4	10.6
	標準偏差	1.5	1.5	1.5	1.7
	最小値	7.6	9.7	7.6	9.5
	中央値	12.4	12.5	12.5	9.9
	最大値	16.7	16.7	15.1	13.1
	欠測数	2	1	1	0
白血球数 (/mm ³)	症例数	92	36	52	4
	平均値	6648.8	6373.1	6819.8	6907.5
	標準偏差	2478.2	2499.7	2535.2	1619.1
	最小値	1800.0	1800.0	3100.0	5300.0
	中央値	6240.0	5945.0	6400.0	6720.0
	最大値	14610.0	12600.0	14610.0	8890.0
	欠測数	2	1	1	0
血小板数 (×10 ⁴ /mm ³)	症例数	92	36	52	4
	平均値	25.7	21.7	27.6	36.9
	標準偏差	11.4	9.3	10.3	26.1
	最小値	4.2	8.1	4.2	13.1
	中央値	23.5	20.0	27.7	30.3
	最大値	74.0	55.3	46.4	74.0
	欠測数	2	1	1	0
AST (IU/L)	症例数	92	36	52	4
	平均値	61.7	54.3	69.2	30.5
	標準偏差	47.5	34.0	55.3	7.3
	最小値	16.0	21.0	16.0	20.0
	中央値	42.0	41.0	45.0	33.0
	最大値	254.0	154.0	254.0	36.0
	欠測数	2	1	1	0
ALT (IU/L)	症例数	92	36	52	4
	平均値	65.7	55.9	75.8	23.0
	標準偏差	61.2	44.5	70.8	3.2
	最小値	4.0	18.0	4.0	20.0
	中央値	43.0	37.0	54.0	22.5
	最大値	362.0	190.0	362.0	27.0
	欠測数	2	1	1	0
γ-GTP (IU/L)	症例数	84	33	48	3
	平均値	66.0	78.1	59.8	33.0
	標準偏差	74.7	85.3	68.2	20.0
	最小値	10.0	13.0	10.0	20.0
	中央値	39.5	42.0	38.0	23.0
	最大値	421.0	398.0	421.0	56.0
	欠測数	10	4	5	1
T-Bil (mg/dL)	症例数	91	35	52	4
	平均値	0.5	0.5	0.5	0.4
	標準偏差	0.3	0.3	0.4	0.2
	最小値	0.1	0.1	0.1	0.3
	中央値	0.4	0.4	0.4	0.3
	最大値	1.9	1.5	1.9	0.6
	欠測数	3	2	1	0
D-Bil (mg/dL)	症例数	74	27	44	3
	平均値	0.2	0.2	0.2	0.0
	標準偏差	0.2	0.2	0.3	0.1
	最小値	0.0	0.0	0.0	0.0
	中央値	0.1	0.1	0.1	0.0
	最大値	1.3	0.8	1.3	0.1
	欠測数	20	10	9	1
TP (g/dL)	症例数	91	35	52	4
	平均値	6.8	6.8	6.8	7.3
	標準偏差	0.7	0.8	0.7	0.9
	最小値	5.1	5.1	5.7	6.1
	中央値	6.7	6.7	6.6	7.6
	最大値	8.6	8.6	8.4	8.1
	欠測数	3	2	1	0